

資料5 事業所アンケート結果

1 調査の概要

(1) 調査対象及び抽出方法

舞鶴商工会議所会員名簿（平成27年時点）より、次の方法で抽出

項目	H27		H20	
	抽出率	抽出数	抽出率	抽出数
①従業員30人以上の企業	100%	91	100%	103
②従業員4人以上30人未満の企業 うち製造業	100%	30	100%	78
③従業員4人以上30人未満の企業 うち製造業以外	75%	425	50%	282
合計	-	546	-	463

(2) 調査方法

調査票を郵送にて配布・回収
期間：平成27年7月23日～8月7日

(3) 回収結果

項目	配布数	有効回答数	有効回収率
平成27年度アンケート（本調査）	545（※）	280	51.4%
【参考】平成20年度アンケート	463	213	46.0%

（※）…1通の未送達があったため、（1）で示す抽出数の合計から除いています。

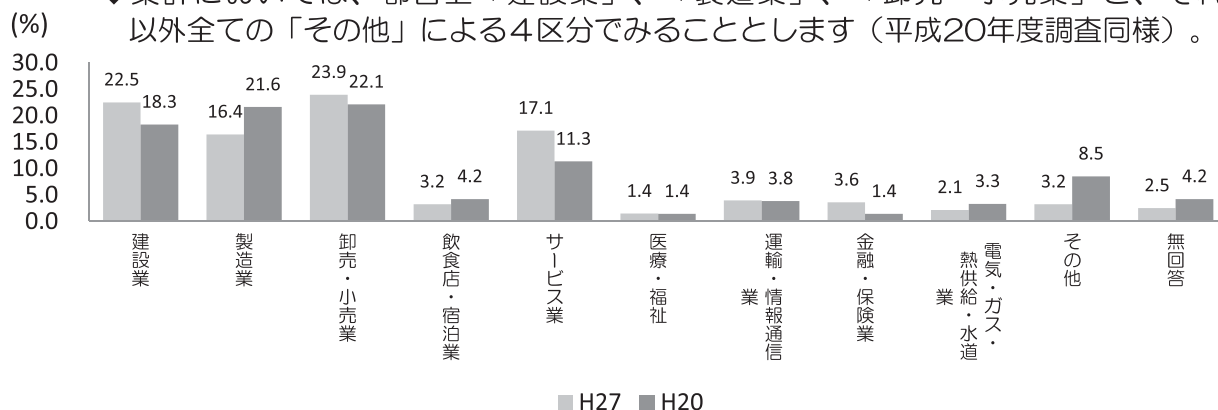
(4) その他

- ・比率は全てパーセントで表しており、集計上の端数処理のため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・本資料の見出し及び回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

2 回答事業所の概要

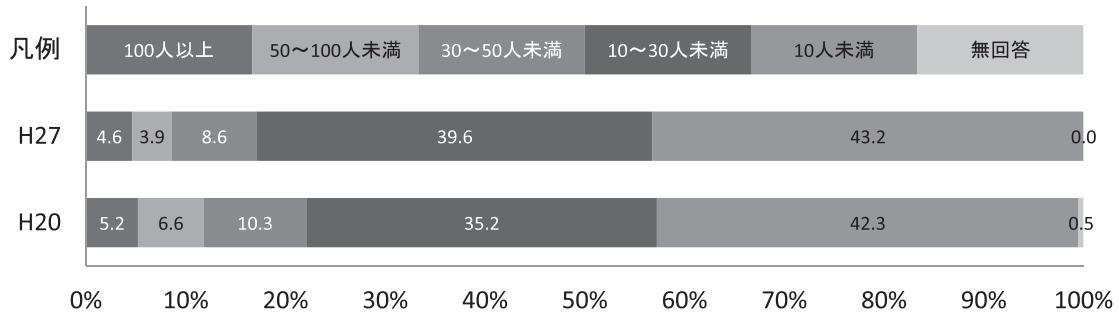
(1) 業種

- ◆ 「卸売・小売業」23.9%、「建設業」22.5%、「サービス業」17.1%、「製造業」16.4%で、あわせて79.9%を占めています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果においても、同4業種が73.3%を占めており、今回の調査と比較して大きな変化は見られません。
- ◆ 集計においては、都合上「建設業」、「製造業」、「卸売・小売業」と、それ以外全ての「その他」による4区分でみることにします（平成20年度調査同様）。



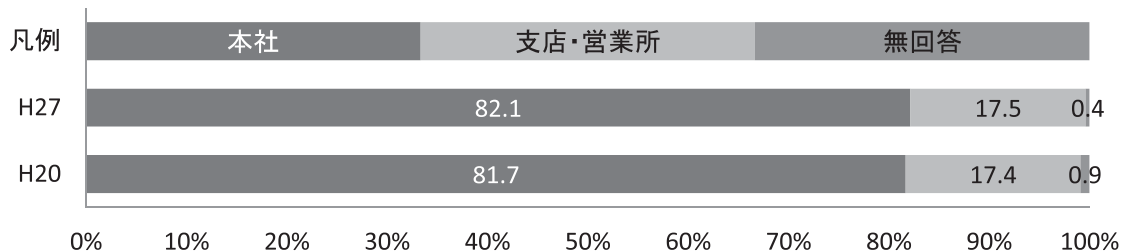
(2) 事業所規模

- ◆回答事業所の規模は、従業員数10人未満が43.2%と最も多く、次いで10～30人未満（39.6%）、30～50人未満（8.6%）となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。



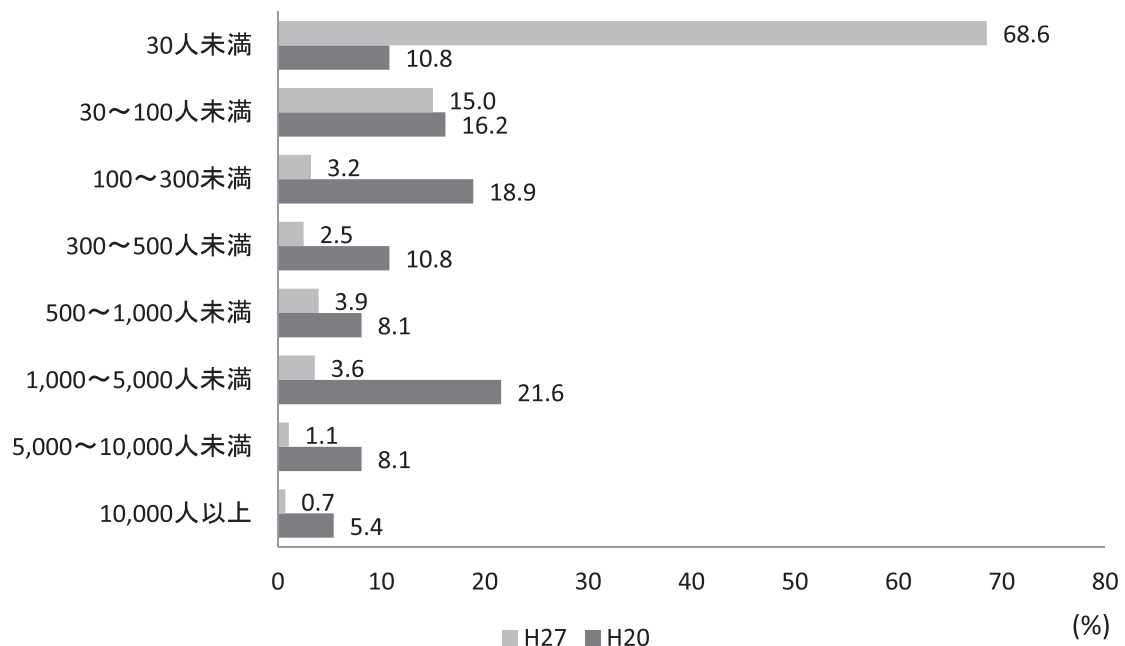
(3) 位置づけ

- ◆回答事業所が本社である割合は82.1%、支店・営業所（他所に本社がある）である割合は17.5%となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。



(4) 他所に本社がある事業所の会社全体の規模

- ◆他所に本社がある事業所の会社全体の規模は、30人未満が68.6%と最も多く、次いで30～100人未満（15.0%）、500～1,000人未満（3.9%）となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、30人未満の割合が前回10.8%から今回68.6%と大きく増加し、一方、100～300人未満が前回18.9%から今回3.2%と、また、1,000～5,000人未満が前回21.6%から今回3.6%と、それぞれ減少しています。



3 調査結果

(1) 環境に配慮した取り組みについて

[問] 貴事業所の業種に関わりがあると思われる項目（次項の項目①～⑳参照）について、貴事業所における取り組み状況をお答えください。

【全体について】 全ての事業所に共通する項目（設問①～⑭）

- ◆取り組んでいる事業所が多いのは以下のとおり
 - ⑦節電や節水、コピーの裏面利用など資源の節約に努めている（92.9%）
 - ⑨分別を徹底したり、古紙やピン等を回収業者に出すなど、事業所から出るごみの再資源化を推進している（89.6%）
- ◆一方、取り組んでいる事業所が少ないのは以下のとおり
 - ⑭ノーマイカーデーやエコ通勤に取り組んでいる（8.3%）
 - ⑤取引先を選ぶのに、環境に対する姿勢を選定基準に入れている（16.0%）
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ「⑪地域の環境に関する活動に参加したり、資金や場所を提供したりしている」が前回31.5%から今回43.0%と増加しています。

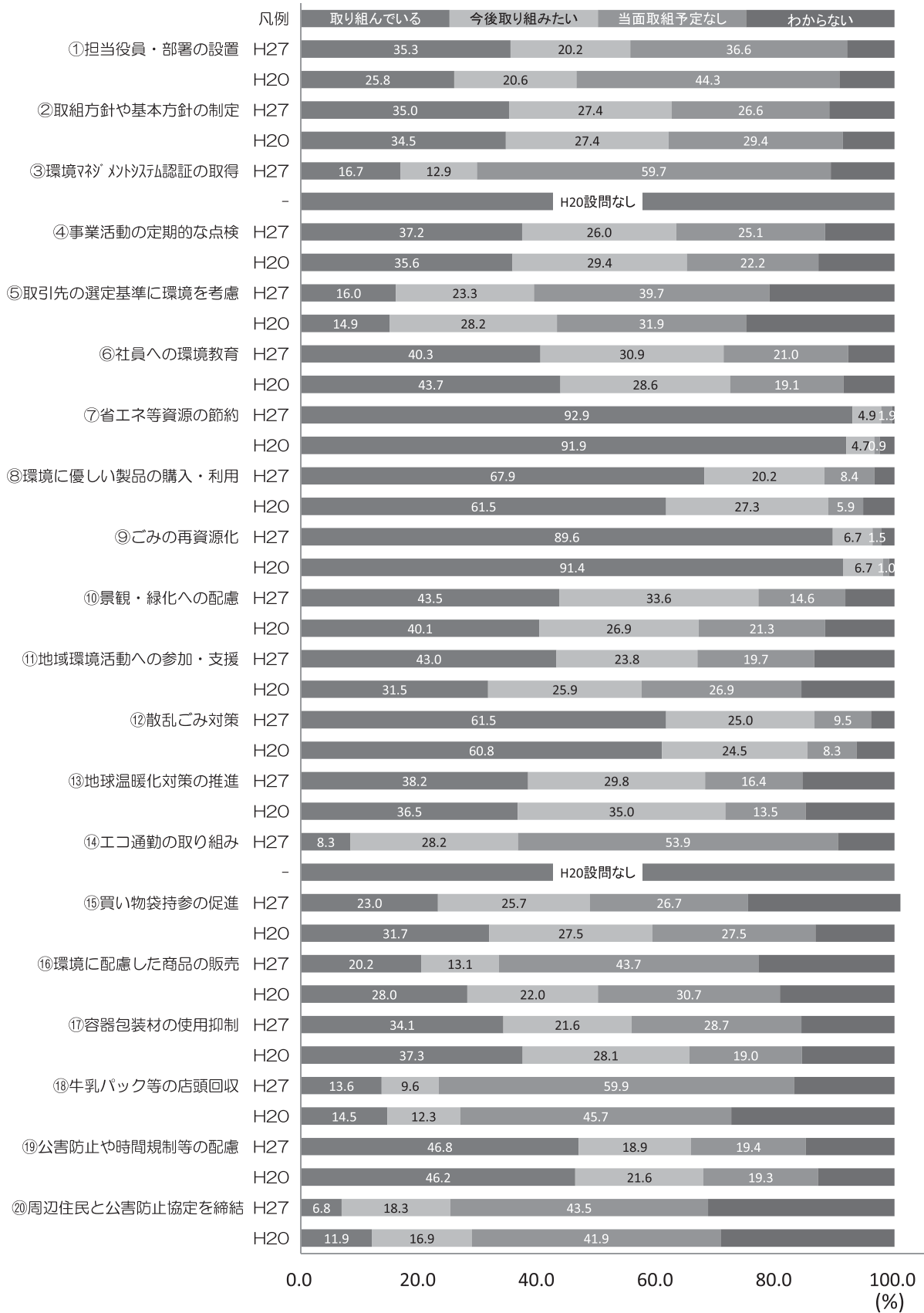
【商業者について】 主に商業者に関する項目（設問⑮～⑱）

- ◆取り組んでいる事業者が多いのは以下のとおり
 - ⑰商品流通時の梱包や、販売時の包装の簡素化など、容器包装材の使用を抑制している（34.1%）
- ◆一方、取り組んでいる事業者が少ないのは以下のとおり
 - ⑱牛乳パックやトレーなどの店頭回収をしている（13.6%）
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、「⑱牛乳パックやトレーなどの店頭回収」について「今後取り組む予定がない」と回答した事業者の割合が、前回45.7%から今回59.9%と増加しています。

【建設業・製造業について】 主に、建設業及び製造業に関する項目（設問⑲、⑳）

- ◆取り組んでいる事業所が多い項目は以下のとおり
 - ⑲悪臭や騒音を防止するための装置をつけたり、事業活動の時間規制をしたりして、周辺に悪影響を与えないように配慮している（46.8%）
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化はみられません。

【事業所における取り組み状況】



(2) 建設業及び製造業、電気・ガス・熱供給・水道業の事業所における 取り組み状況

【問】建設業及び製造業、電気・ガス・熱供給・水道事業の方におたずねします。
以下の5つの項目について、貴事業所における取り組み状況をお答え
ください。

【①環境への影響に配慮した原料等の選択】

- ◆全体（総数）では53.0%の事業所で取り組まれており、今後取り組みたい事業所も含めると70.4%を占めています。
- ◆規模別では、50～100人未満の事業所を除いた各規模において、約50%以上の事業所で取り組まれています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、50～100人未満の規模の事業所の取り組んでいる割合が、前回71.4%から今回33.3%と大きく減少しています。

【②資源の有効活用】

- ◆全体（総数）では11.3%の事業所で取り組まれており、今後取り組みたい事業所も含めると39.1%を占めています。
- ◆規模別では、全ての規模において、取り組んでいる事業所の割合が20%以下となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、50～100人未満の規模の事業所の取り組んでいる割合が、前回42.9%から今回0%と大きく減少しています。

【③廃棄物減量化】

- ◆全体（総数）では55.7%の事業所で取り組まれており、今後取り組みたい事業所も含めると73.1%を占めています。
- ◆規模別では、全ての規模において、約50%以上の事業所で取り組まれています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、30～50人未満の規模において「取り組んでいる」と回答している割合が前回81.8%から今回54.5%と、大きく減少しています。

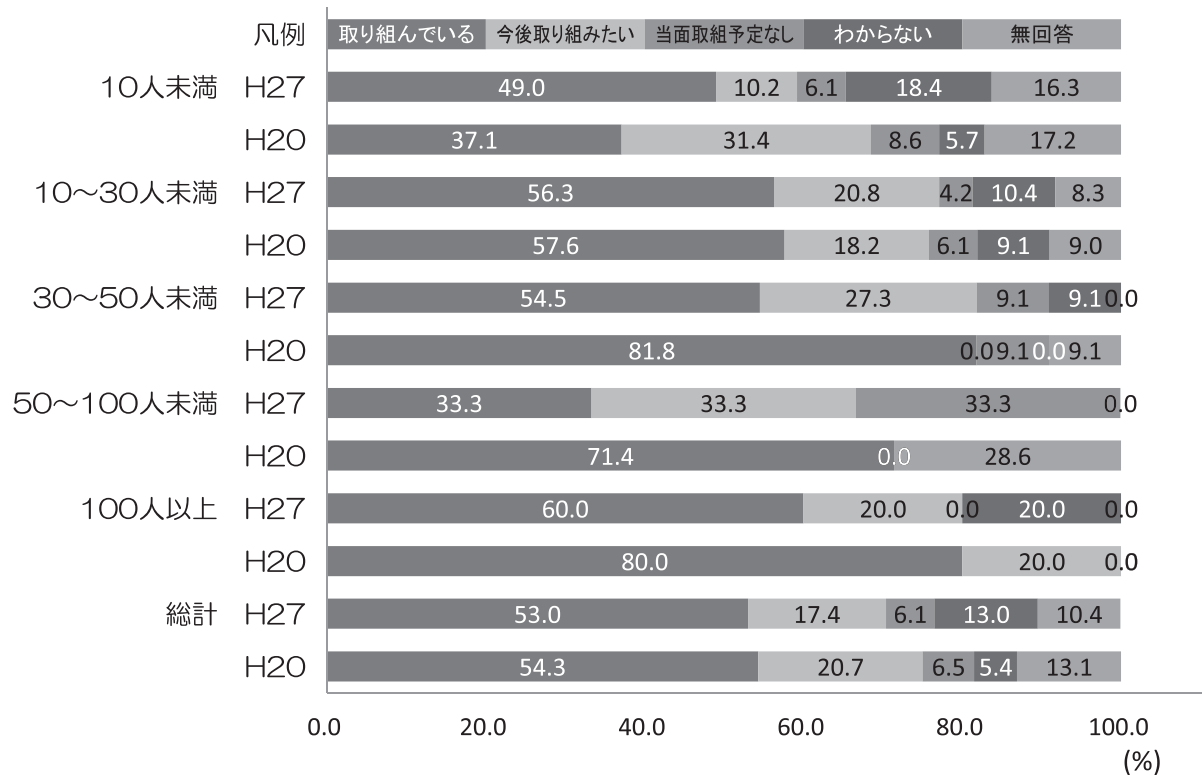
【④リサイクル体制の整備】

- ◆全体（総数）では52.2%の事業所で取り組まれており、今後取り組みたい事業所も含めると73.1%を占めています。
- ◆規模別では、30～50人未満の事業所を除いた各規模において、50%以上の事業所で取り組まれています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、10人未満の規模の事業所において、「取り組んでいる」と回答している割合が前回34.3%から今回51.0%と増加しています。

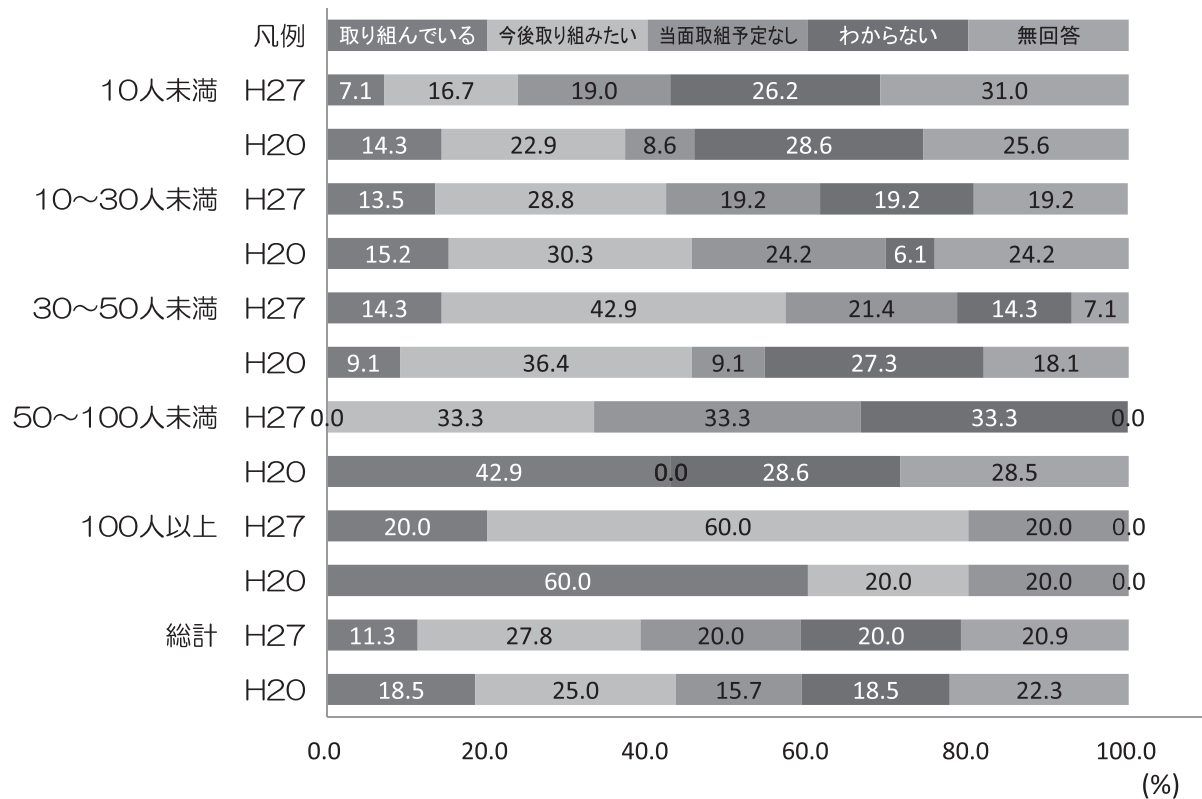
【⑤環境に配慮した製品等の開発、整備】

- ◆全体（総数）では27.8%の事業所で取り組まれており、今後取り組みたい事業所も含めると58.2%を占めています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、50～100人未満の規模の事業所の「取り組んでいる」と回答している割合が、前回42.9%から今回0%と大きく減少しています。

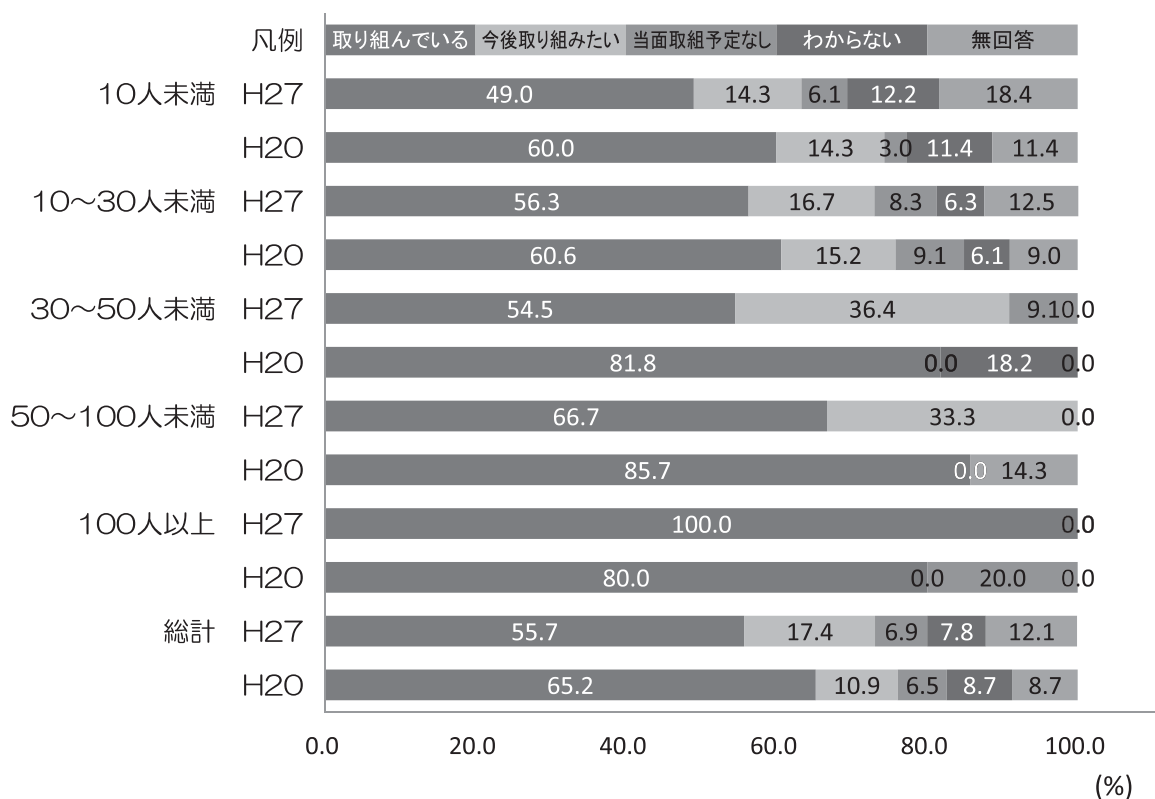
【①環境の影響に配慮した原料等の選択】



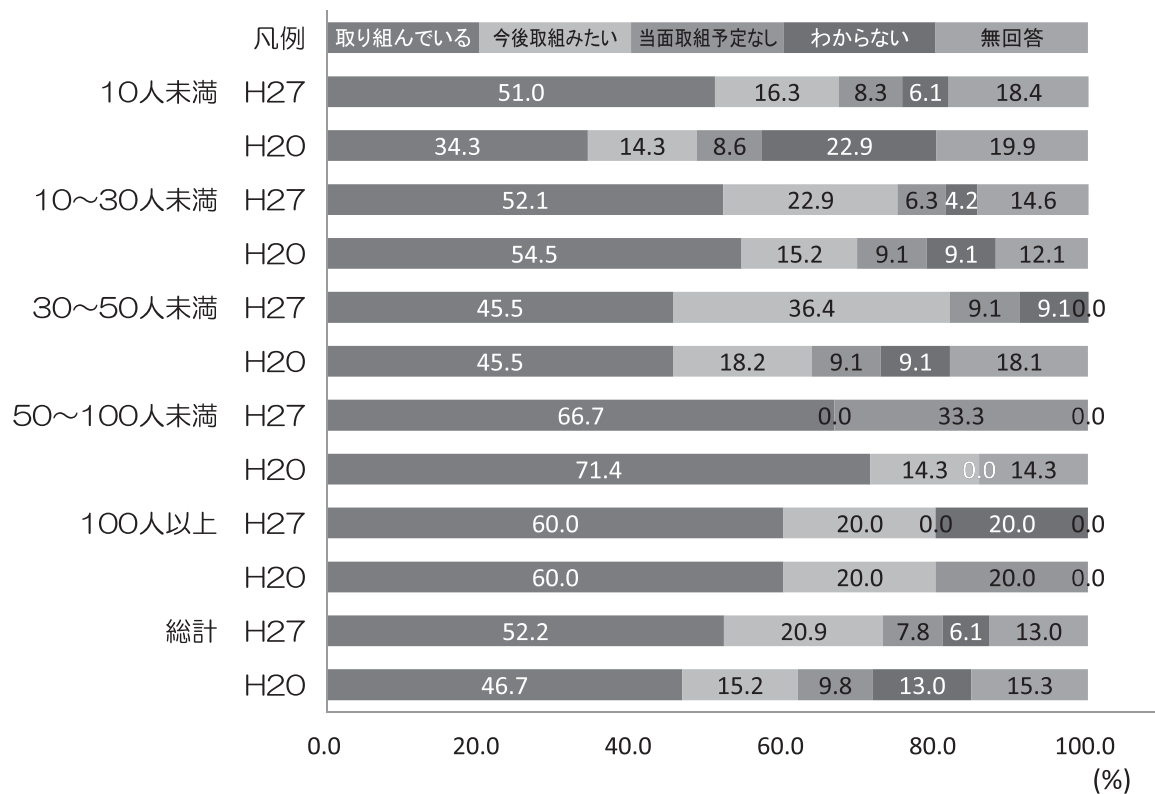
【②資源の有効活用】



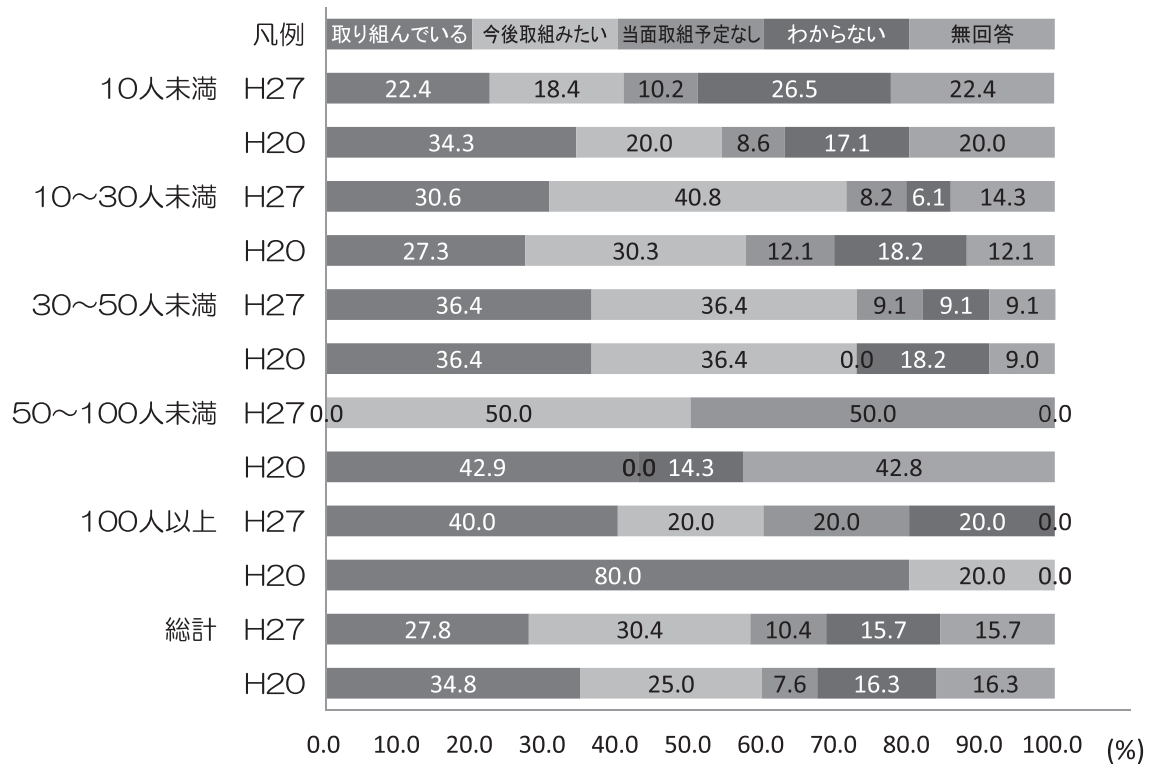
【③廃棄物減量化】



【④リサイクル体制の整備】



【⑤環境に配慮した製品等の開発、整備】



(3) 環境に配慮した取り組みによるメリット

[問] 貴事業所では、環境に配慮した取り組みによるメリットはありましたか。

また、メリットがあった（1. 大きなメリットがあった、2. 多少はメリットがあった）とお答えの事業所では、どのようなメリットがありましたか。

【メリットの有無】

■ 全体（総計）

- ◆ 「メリットがあった」と答えた事業所は41.4%でした。一方、「特にメリットはなかった」と答えた事業所は19.6%でした。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られませんでした

■ 業種別

- ◆ 「メリットがあった」と答えた業種は、卸売・小売業が49.3%と最も多く、次いで建設業（47.6%）でした。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、「メリットがあった」と答えた卸売・小売業の割合が、前回27.7%から今回49.3%と大きく増加しています。

■ 規模別

- ◆ 「メリットがあった」と答えた割合が最も多かったのは100人以上の規模の事業所（61.5%）で、次いで30～50人未満（52.0%）でした。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、「メリットがあった」と答えた30～50人未満の規模の事業所が、前回31.8%から今回52.0%と大きく増加しています。

【メリットの内容】

■ 全体（総計）

- ◆ 54.3%の事業所が「コストの低減につながった」と回答し、最も多い割合を占めています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ「社内の活性化につながった」と回答した事業所の割合が、前回17.9%から今回29.8%と増加しています。

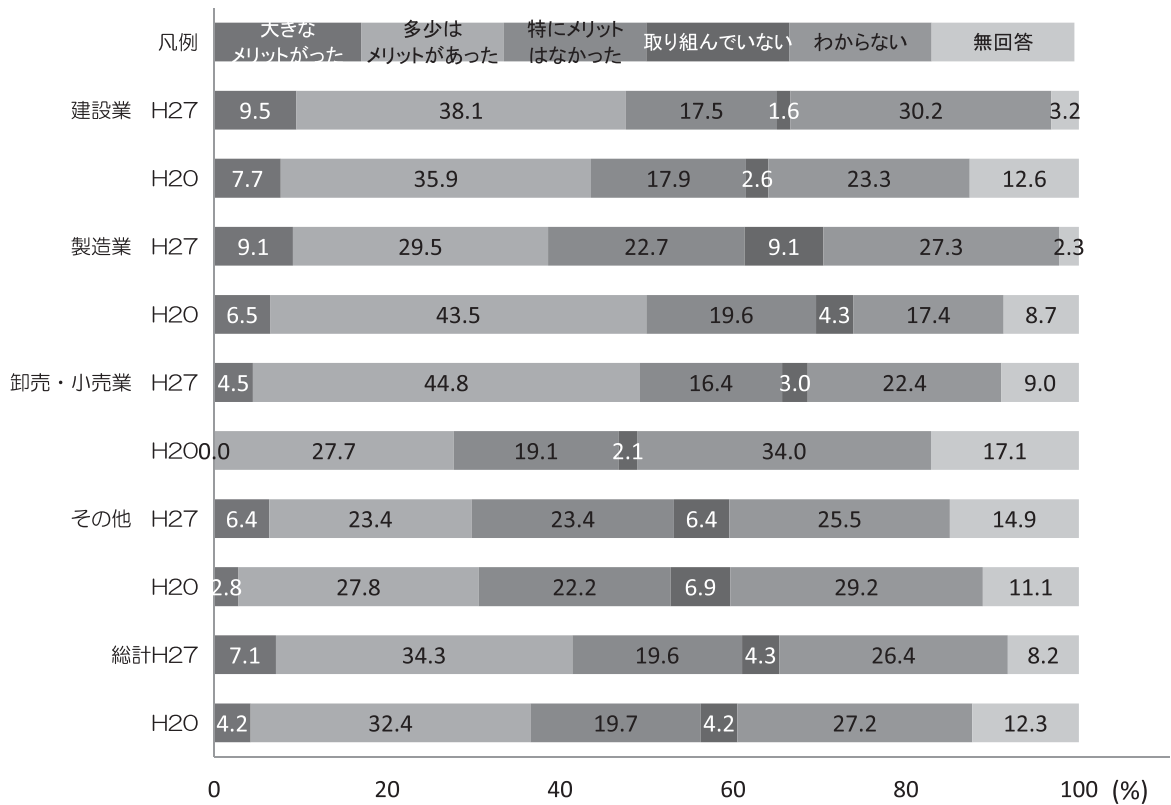
■ 業種別

- ◆ 製造業、建設業、その他の業種において、「コストの低減につながった」と回答した事業所の割合が最も多くなっています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、製造業において「社会的なイメージアップにつながった」と回答した割合が前回26.1%から今回41.2%と、また、建設業において「地域住民の信頼があがった」と回答した割合が前回17.6%から今回33.3%と、それぞれ増加しています。

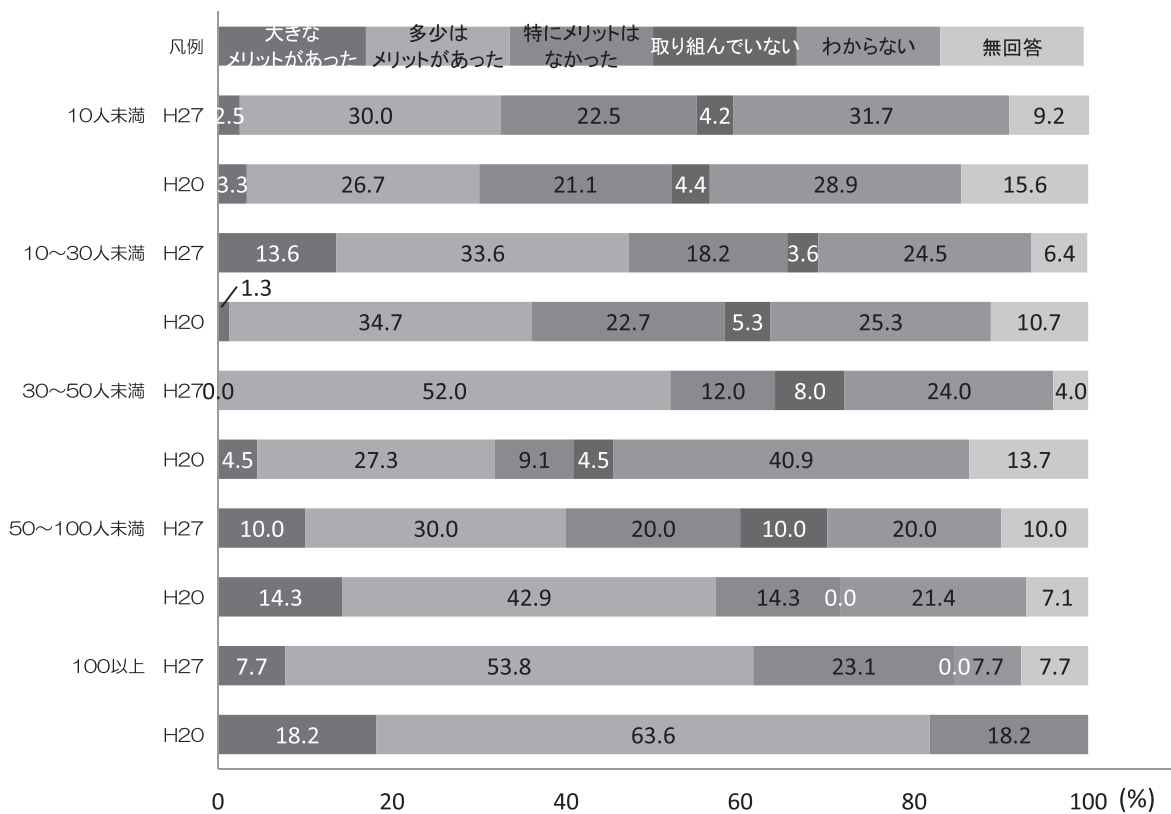
■ 規模別

- ◆ 10人未満及び10～50人未満の規模の事業所において、「コストの低減につながった」と回答した事業所の割合が最も多くなっています。
- ◆ 50～100人未満の規模の事業所において、「新たなビジネスチャンスを生んだ」と回答した割合が最も多くなっています。
- ◆ 100人以上の規模の事業所において、「企業の社会的な責任が果たせた」と回答した割合が最も多くなっています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、50～100人未満の規模の事業所において、「新たなビジネスチャンスを生んだ」と回答した割合が前回25.0%から今回75.0%と、また、100人以上の規模の事業所において、「企業の社会的な責任が果たせた」と回答した割合が前回44.4%から今回62.5%と、それぞれ増加しています。

【メリットの有無(業種別)】



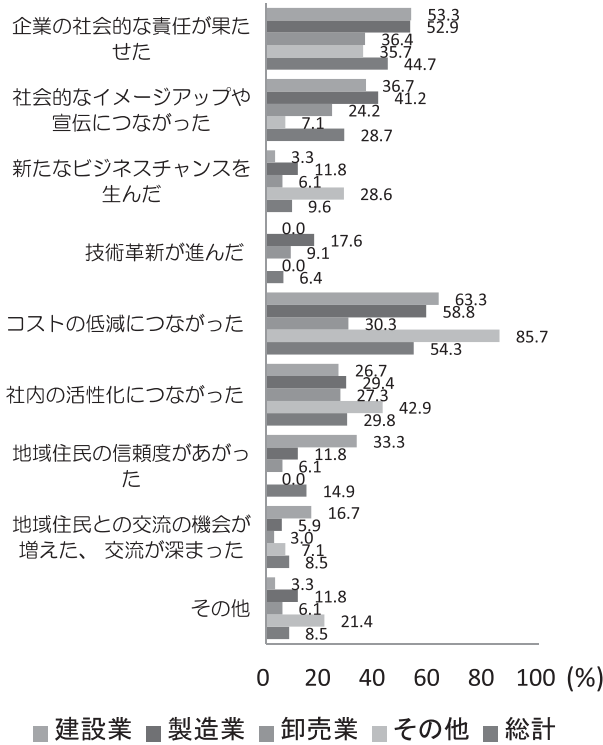
【メリットの有無(規模別)】



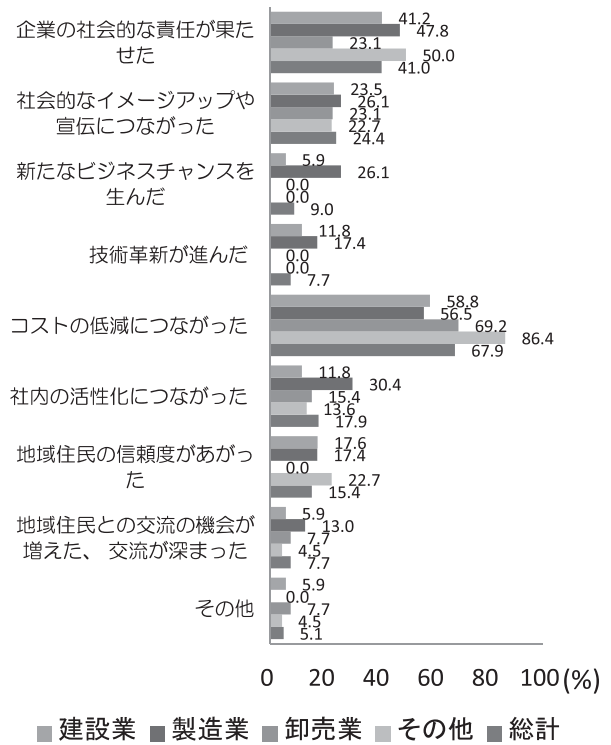
【メリットの内容(業種別)】

〈複数回答〉

H27



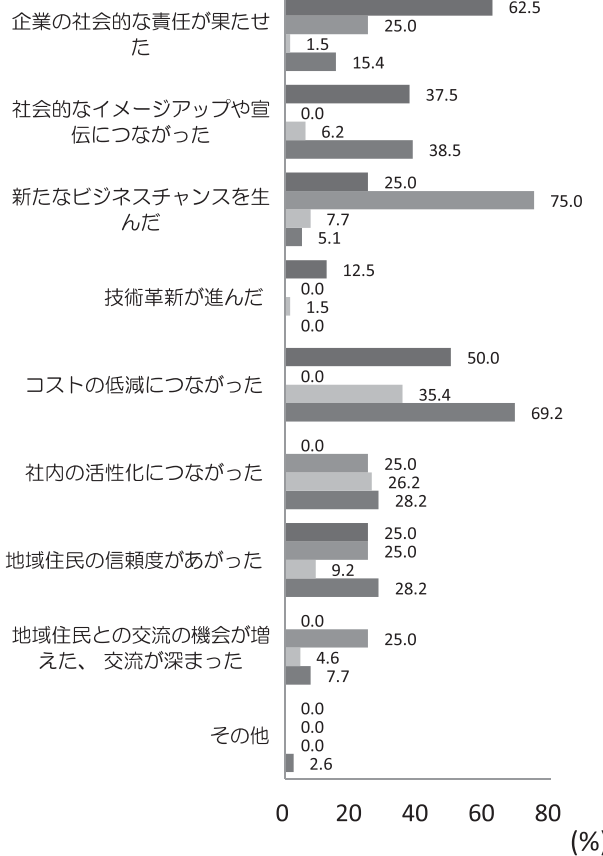
〈参考〉H20



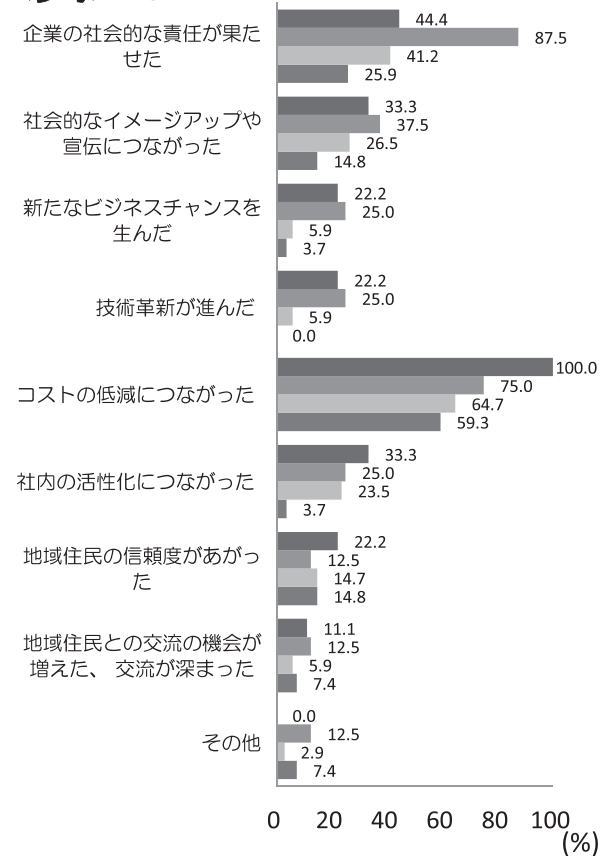
【メリットの内容(規模別)】

〈複数回答〉

H27



〈参考〉H20



■ 100人以上 ■ 100人未満 ■ 50人未満 ■ 10人未満

■ 100人以上 ■ 100人未満 ■ 50人未満 ■ 10人未満

(4) 環境に配慮した取り組みを進めるうえでの課題

[問] 貴事業所では、環境に配慮した取り組みを進めるうえでの課題はありますか。

【全体(総計)】

- ◆ 41.4%の事業所が「コストが高い」と回答し、最も多い割合を占めており、次いで「取り組むための人材が不足している」(29.3%)となっています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られませんでした。

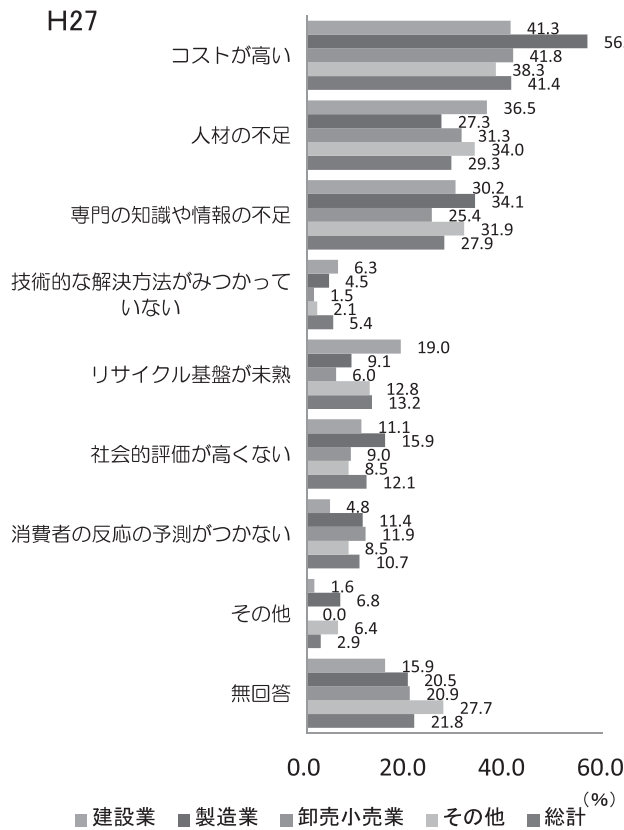
【業種別】

- ◆ 全ての業種で「コストが高い」と回答した割合が30%を超え、最も多い割合を占めています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、製造業において「専門知識や情報の不足」と回答した割合が前回21.7%から今回34.1%と増加しています。

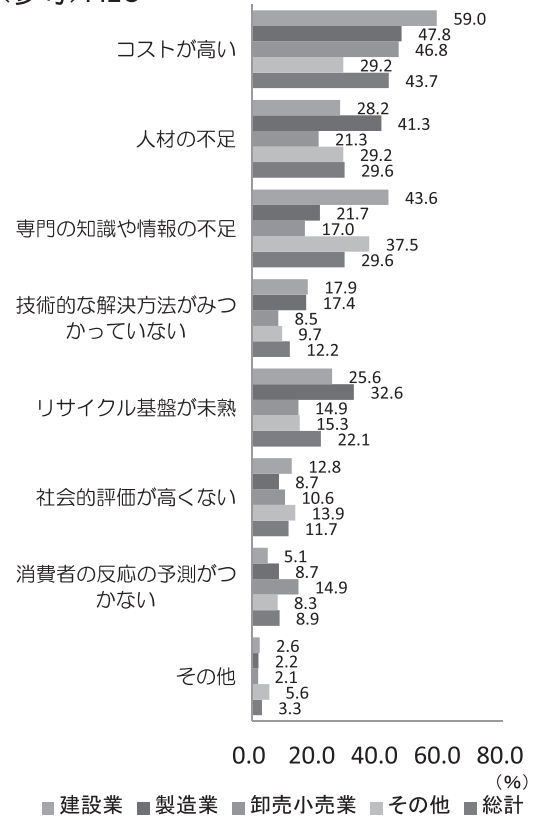
【規模別】

- ◆ 全ての規模で「コストが高い」と回答した割合が30%を超え、最も多い割合を占めています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、50~100人未満の規模の事業所において「消費者の反応の予測がつかない」と回答した割合が前回7.1%から今回27.3%と大きく増加し、また、「専門知識や情報の不足」と回答した割合が前回28.6%から今回9.1%と減少しています。

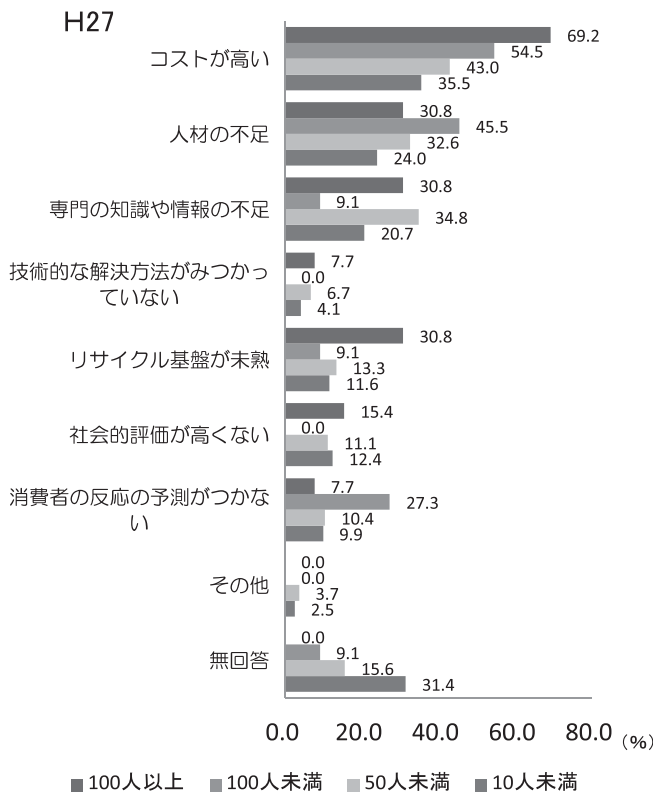
【業種別】 <複数回答>



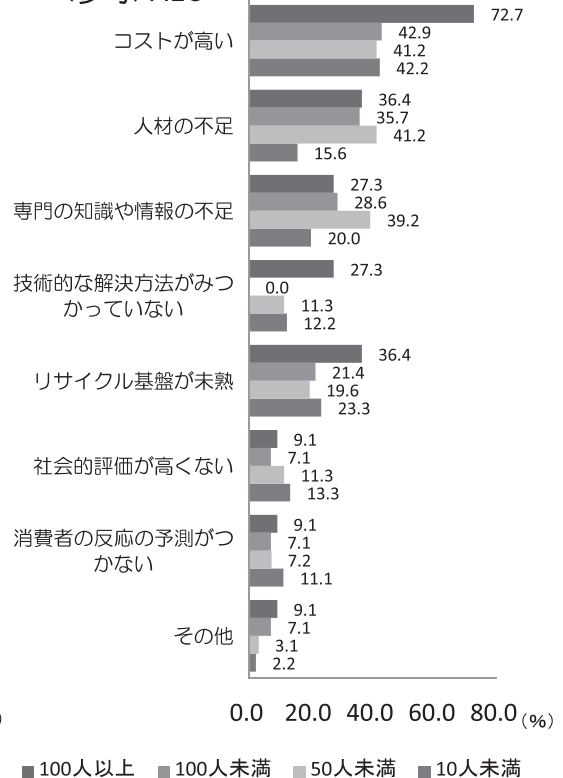
<参考>H20



【規模別】 <複数回答>



<参考>H20



(5) 環境に配慮した取り組みを進めるために行政に望むこと

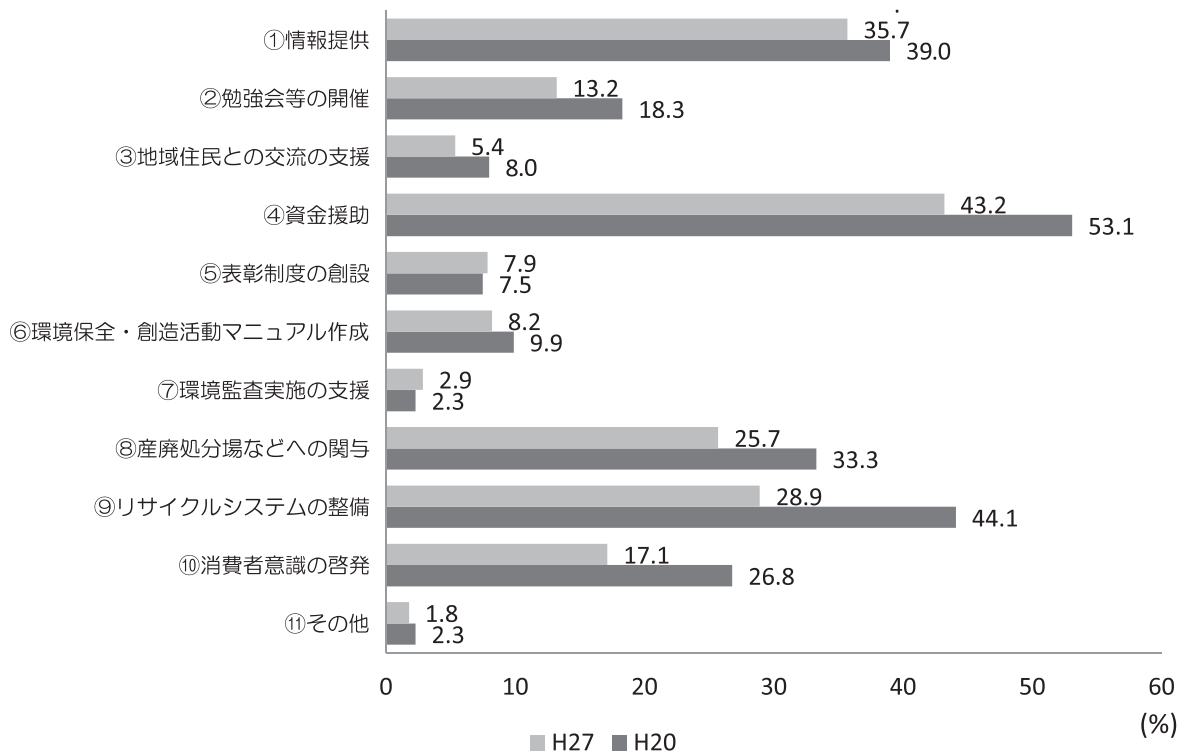
〈複数回答〉

[問] 貴事業所では、環境に配慮した取り組みを進めるために、どのようなことを

◆ 環境に配慮した取り組みを進めるために、事業所が多く行政に望むことは以下のとおり

④環境に配慮した取り組みに対する資金面の援助 (税制面や資金援助等)	43.2%
①行政や他企業の取り組み等の情報提供	35.7%
⑨循環型社会に向けたリサイクルシステムの整備	28.9%

◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、⑨循環型社会に向けたリサイクルシステムの整備、が前回44.1%から今回28.9%と減少しています。



(6)環境に配慮した取り組みの位置付け

【問】貴事業所では、環境に配慮した取り組みをどのような位置づけにされていますか。

【全体(総計)】

- ◆67.9%の事業所が「事業活動を行ううえでの、いくつかの重要な課題のうちの一つである」と回答し、最も多い割合を占めています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。

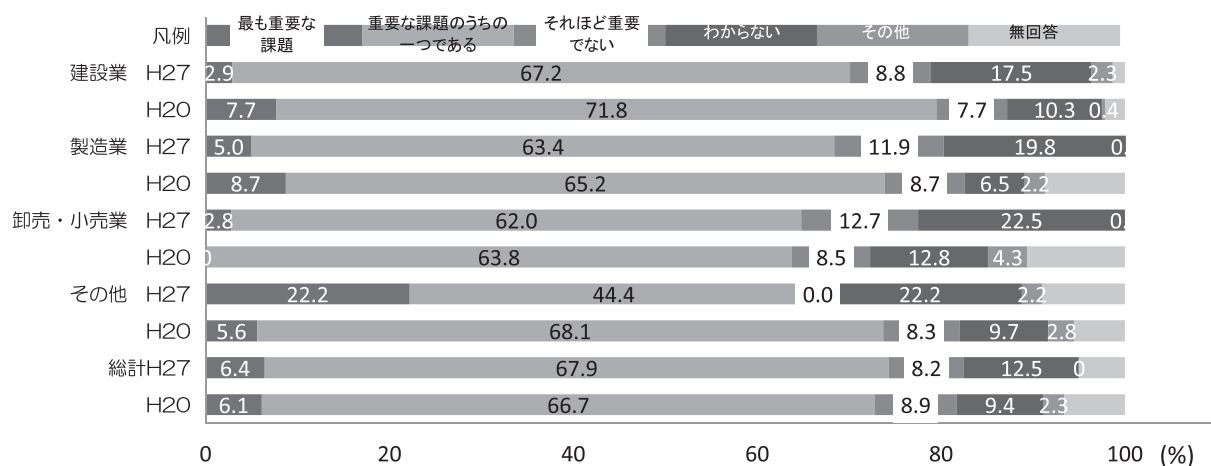
【業種別】

- ◆全ての業種で「事業活動を行ううえでの、いくつかの重要な課題のうちの一つである」と回答した割合が40%を超え、最も多い割合を占めています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られませんでした。

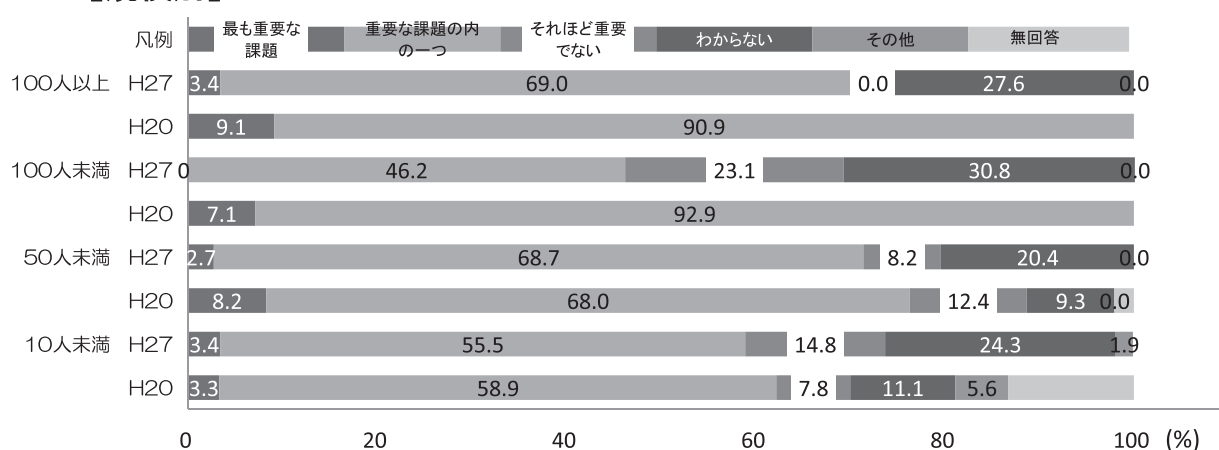
【規模別】

- ◆全ての規模で「事業活動を行ううえでの、いくつかの重要な課題のうちの一つである」と回答した割合が40%を超え、最も多い割合を占めています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、50～100人未満の規模の事業所において「事業活動を行ううえでの、いくつかの重要な課題のうちの一つである」と回答された割合が前回92.9%から今回46.2%と大きく減少しています。
- また、100人以上の規模の事業所において、「事業活動を行ううえでの、いくつかの重要な課題のうちの一つである」と回答された割合が前回90.9%から今回69.0%と大きく減少しています。

【業種別】



【規模別】



(7) 環境マネジメントシステムの認証の取得について

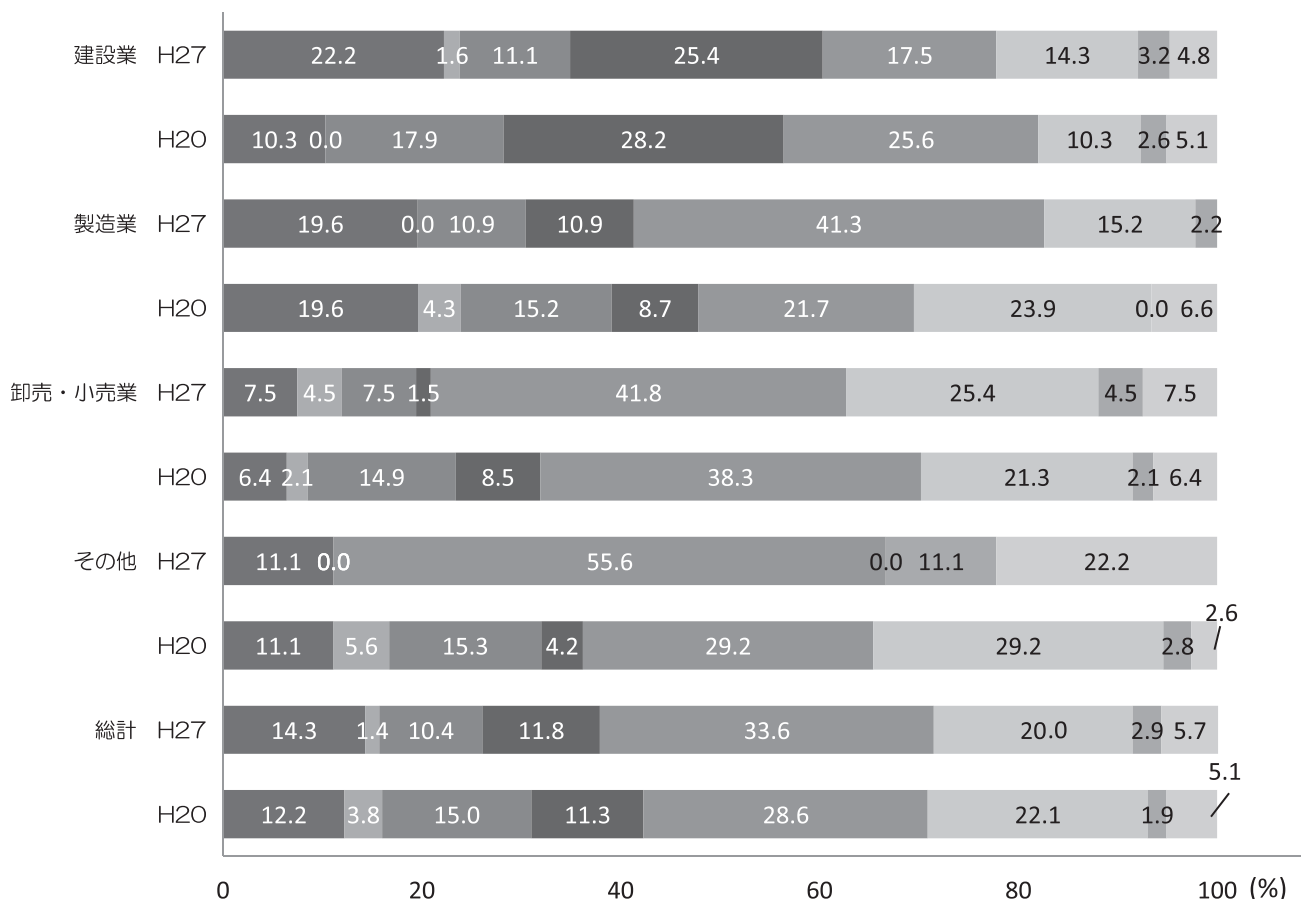
[問] 貴事業所では、環境マネジメントシステムの認証の取得についてどのようにお考えですか。

◆ 環境マネジメントシステムの取得状況については、以下のとおり

	建設業		製造業		卸売・小売		その他		総計	
	H20	H27	H20	H27	H20	H27	H20	H27	H20	H27
ISO14000シリーズ	3	5	9	5	2	0	8	6	22	16
KES	0	10	0	5	1	3	1	3	2	21
その他	1	0	0	0	0	2	1	0	2	2

【業種別】

- ◆ 建設業では「取得したいが、費用が高いので取得できない」と回答している割合が25.4%と最も多くなっています。
- ◆ 製造業及び卸売・小売業では「事業の性質上、取得は必要ないと思う」と回答している割合が41.3%、41.8%と最も多くなっています。
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、建設業における「既已取得している」と回答している割合が前回10.3%から今回22.2%と増加しています。



- 既已取得している
- 事業の性質上、いづれ取得せざるをえないと思う
- 事業の性質上、取得は必要ないと思う
- その他
- 積極的に取得しようと考えている
- 取得したいが、費用が高いので取得できない
- わからない
- 無回答

(8)環境にやさしいまちづくりを進めるための市民、事業所、行政の役割

[問]環境にやさしいまちづくりを進めるためには、市民、事業所、行政がそれぞれ役割を担い、かつ連携していくことが必要だといわれていますが、貴事業所としては、それぞれの役割としてどのようなことが重要であると思われるですか。

【市民の役割】

- ◆市民の役割としては「新聞やダンボールなど、古紙を分別しリサイクルを行う」が78.2%と最も多く、次いで「節電や節水など、省エネ型の生活をする」(77.1%)、「できるだけごみのでない生活を心がける」(70.0%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ「できるだけ自動車を使わない生活を心がける」が前回25.8%から今回11.1%と減少しています。

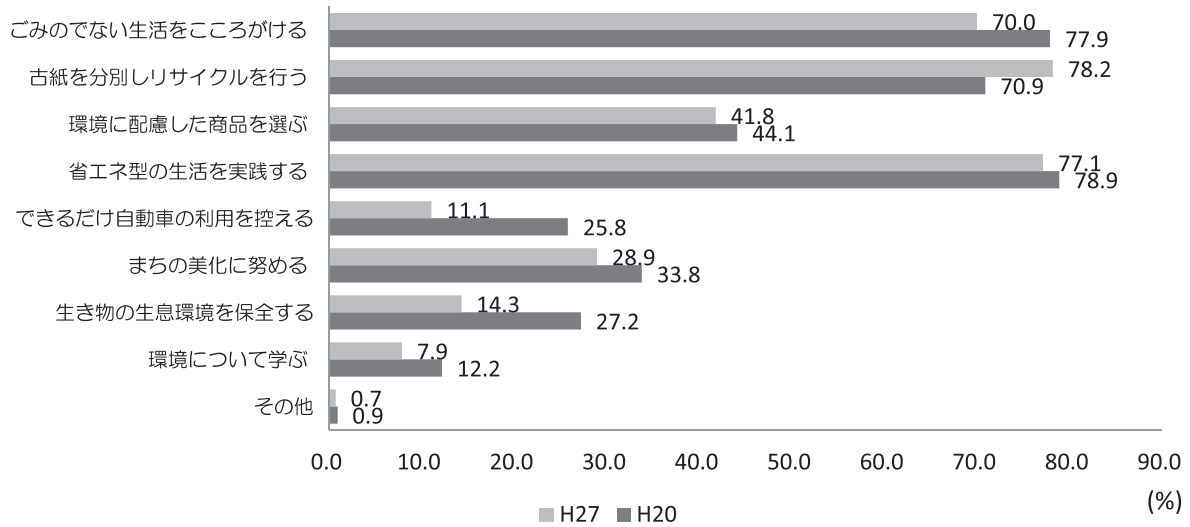
【事業所の役割】

- ◆事業所の役割としては「3Rの取り組みを推進する」が46.8%と最も多く、次いで「事業所周辺など、地域における清掃活動を主体的に行う」(44.3%)、「省エネルギー対策や熱の有効利用など、地球温暖化対策を推進する」(40.4%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ「省エネルギー対策や熱の有効利用など、地球温暖化対策を推進する」が前回56.8%から今回40.4%と減少しています。

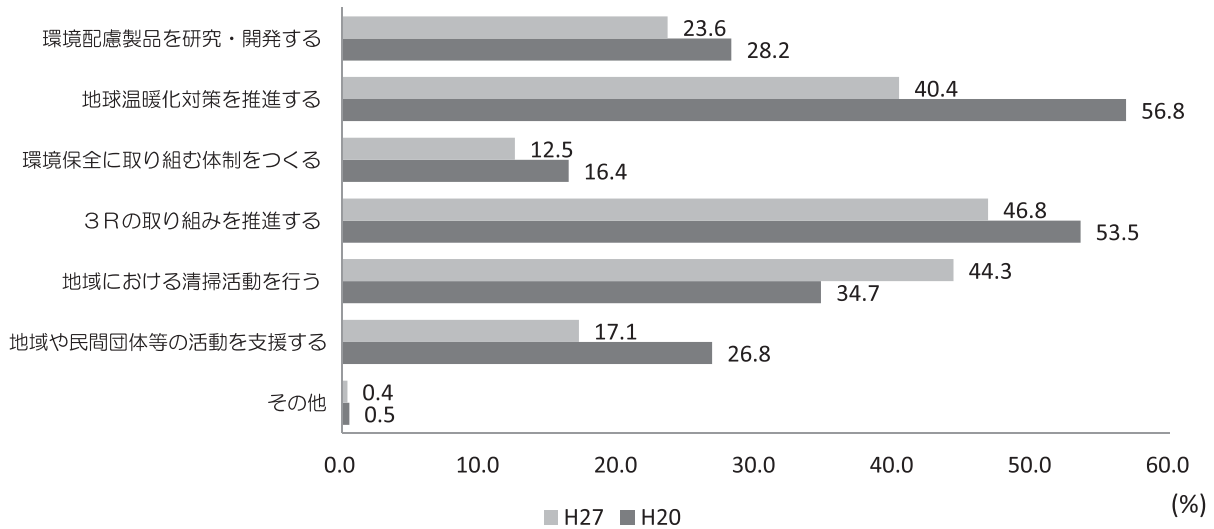
【行政の役割】

- ◆行政の役割としては「事業所の環境に配慮した活動を支援する(税金、資金面)」が58.6%と最も多く、次いで「3Rの取り組みを推進する」(44.6%)、「ソーラーシステムや再生品など、環境にやさしい製品の購入資金を援助する」(40.4%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ大きな変化は見られません。

【市民の役割】 <複数回答>



【事業所の役割】 <複数回答>



【行政の役割】 <複数回答>

